



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

トルコ南部地震、支援表明続々

「思いはともに」45 カ国以上が支援表明

6 日未明にトルコとシリアで多くの死傷者が出た地震を受け、各国が相次いで支援を表明している。

トルコのエルドアン大統領は、支援の申し出は北大西洋条約機構 (NATO)、欧州連合 (EU) の加盟国などを含め、45 カ国以上にのぼると発表した。

被災地では大勢ががれきの下敷きになったとみられ、生存者の捜索が困難を極めている。国際緊急援助隊の派遣を決めた日本を含め、各国がトルコと連携し、支援物資などのほかに、救助活動などにあたる人的支援の提供を打ち出している。

ロイター通信によると、オランダは捜索救助隊を派遣すると発表。救助隊には、警察官、軍人、救急隊員、消防隊員が含まれるという。フックストラ外相は「私たちの思いは、犠牲者とその家族、そして負傷した多くのトルコ人、シリア人とともにある」とツイッターに投稿した。

インドは災害対応部隊として、100 人の隊員と探索犬が捜索・救助活動のために被災地に入る準備ができていると発表した。医療チームも準備している。

朝日新聞社より



トルコで発生した地震の震源



がれきの中の親族を捜索する人々

友達と学校で勉強すること、家族といっしょにごはんをたべること、温かいベッドで安心してねむること。みなさんが毎日当たり前に行っていることがトルコ・シリアでは一瞬にしてうばわれました。この記事を読んでいる間も、被災地の方たちは、昼夜問わず懸命に救助活動を行っています。

皆さんはこのニュースを知って、被災地の方々がかわいそうで気の毒だと感じるかもしれません。自然災害が少ないシンガポールに住んでいますが、だからこそ皆さんには災害について「知る」だけでなくそこから「関心」を持ってほしいと私たちは考えています。

KOMABA では今回の KOMABA DAY での募金だけでなく教材の販売も行います。そこで皆さんから預かったお金を義援金として被災地に送りますので、ぜひご協力をよろしくお願いたします。

(北山)